

正しい情報をキャッチ

パソコン・スマートフォンから

●避難所一覧は
「神奈川県 指定避難所」
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/bousai/1_7748_9_8.html



●地震や津波による被害想定図
●避難所や避難場所等がわかる
「かながわ防災
パーソナルサポートマップ」
<https://www2.wagmap.jp/kanagawa-sp/>



●津波、洪水、土砂災害などの
「発災時のハザードマップ」
<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/maps/index.html>



●洪水や土砂災害に関する備えや、
発災時に確認する情報は
「洪水や土砂災害に備えよう」
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/bousai/1_3244_9_12.html



あせらず適切な行動を!

Q オフィスなどの建物の中にいたら

A ・建物自体が安全な場合は、しばらくその場にとどまり、正しい情報を収集しましょう。

Q エレベーターの中にいたら

A ・行き先階ボタンを全部押して、最初に停止した階で降ります。

・止まってしまったら、非常用連絡ボタンやインターフォンを使って助けを呼びましょう。硬いもので扉を叩くなど、音で知らせることも有効です。

・避難に使用するのはやめましょう。

Q 自動車を運転中だったら

A ・カーラジオで情報を得ます。

・ハザードランプを点滅させて、徐々に減速、左側に寄せて停車します。

・キーはつけたままドアロックせずに避難します。

谷折り

山折り



神奈川県

折りたたんで
必携!!

かながわけんみんな 防災カード



日頃の備えで災害から
「いのち」を守ろう!

災害用伝言ダイヤル「171」

伝言を録音するとき

171 + 1 + 被災地内の固定電話の番号
携帯電話・PHSの番号

- ①「171」をダイヤルします。
- ②音声案内に従い、「1」をダイヤルします。
- ③自分の安否について家族や知人が聞く可能性の最も高い電話番号(例えば自宅の電話番号)を必ず市外局番(0XX-XXX-XXXX)から順にダイヤルし、音声案内にしたがって安否等のメッセージを録音してください。

※体験利用可能日 ・毎月1日、15日
・正月三が日

伝言を再生するとき

171 + 2 + 被災地内の固定電話の番号
携帯電話・PHSの番号

- ①「171」をダイヤルします。
- ②音声案内に従い、「2」をダイヤルします。
- ③連絡を取りたい相手先の電話番号を必ず市外局番(0XX-XXX-XXXX)から順にダイヤルしてください。

・防災週間(8月30日～9月5日)
・防災とボランティア週間(1月15日～21日)

災害用伝言板

NTTドコモ
docomo



<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

KDDI
au



<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ソフトバンク
SoftBank



<http://dengon.softbank.ne.jp/>

Rakuten
Mobile



<https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp/>

警戒レベル4「避難指示」で 危険な場所から全員避難

大雨や台風から命を守る

大雨や台風に対しては、「自らの命は自らが守る」という意識を持つことが重要です。

①平時からハザードマップ等を確認し、早め早めの安全確保行動を取るようにしましょう。

②大雨や台風になった際は、市町村や気象庁などから発信される情報をもとに、早めの避難を心がけましょう。これらの情報が発信されていないくても、危険を感じる場合は、自らの判断で避難しましょう。



神奈川県雨量水位情報システム

検索

弾道ミサイルの落下に備えて

●屋外にいる場合

近くの建物の中か地下に避難する。

●建物がない場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

●屋内にいる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、防災行政無線でサイレン音とともにメッセージを流します。

また、緊急速報メール等により

緊急情報をお知らせします。



国民保護ポータルサイト

検索

家族との待ち合わせ場所

広域避難場所となる公園等

避難所となる学校等

持病・アレルギー・常用薬など

家族で決めたことを
メモしておこう!!



徒歩での帰宅経路を確認しよう

- ☐ 町並みを記憶
- ☐ 危険箇所の把握
- ☐ 昼と夜の風景の変化
- ☐ 迂回路の検討
- ☐ 利用可能施設(休憩場所など)の確認
- ☐ 人が集中し混乱する場所を避ける

災害時帰宅支援ステーション



水道水、トイレ、道路情報の提供など、
災害時の帰宅をサポートします。



一次持出品

◆避難するときに最初に持ち出すもの。

貴重品

現金(小銭も)、通帳類、証書類、身分証明書、免許証、マイナンバーカード(又は資格確認書)、印鑑等

携帯ラジオ

小型で軽く、FMとAM両方聴けるもの。
予備電池も多めに用意する。

救急薬品

ばんそうこう、ガーゼ、包帯、消毒薬、薬等
持病のある人はおくすり手帳も忘れずに。

非常食・飲料水

カンパンや缶詰等、火を通さなくても食べられるもの、飲料水、水筒、紙皿、コップ等

その他

下着、上着、携帯電話(バッテリーも)、懐中電灯等、このカード

防災用品を備えよう!

二次持出品

◆災害復旧までの数日間を自活するためのもの。
◆最低三分、できれば1週間分を用意。

食料

そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。

水

飲料水は大人一人当たり1日3リットルが目安。生活用水の確保も。

燃料・その他

卓上コンロ・固形燃料、携帯トイレ、トイレトーパーパー、生理用品等



女性10kg、
男性15kgが
目安!



あなたのお家は大丈夫?

平成12年以前に建てられた木造住宅においては、近年発生している大規模地震で建物倒壊が確認されています。専門家の耐震診断を受け、必要があれば早めに改修しましょう。

- ☐ 大型の家具や家電に、転倒防止器具を取り付けている
 - ☐ 出入口や通路にものを置かない
 - ☐ ガラスに飛散防止フィルムを貼っている
 - ☐ 地震発生時にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める感震ブレーカー等を設置している
- また、自宅のブロック塀についても、地震発生時に倒れることのないよう、安全確認をしておきましょう。



神奈川県 住宅の耐震化

検索

地震がおこっても あせらず

DROP! COVER! HOLD ON!



(提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)



まずは
自らの身を
守りましょう

「かながわシェイクアウト」
については
県ホームページから



かながわシェイクアウト

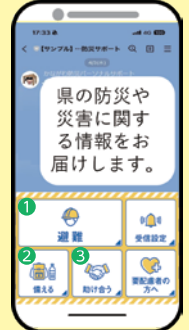
検索

LINE「かながわ防災 パーソナルサポート」

●サービス概要

- ①気象情報、避難情報など、災害時の避難に必要な情報を調べることができます
- ②防災グッズ、避難場所の確認など、日頃からの防災対策に関する情報を調べることができます
- ③応急手当や救出救助、地域の防災組織への参加等の情報を調べることができます

友だち追加は
こちらから



津波からいのちを守る

強い揺れや、長い時間の揺れを感じたら、すぐに高台や津波避難ビルなどの避難場所に避難しましょう。



津波からの避難を
呼びかける旗(津波フラッグ)



津波の図記号(津波注意)



津波避難場所



津波避難タワー